

ムラサキセンブリ

Swertia pseudochinensis

リンドウ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ

環境庁 Ⅱ



日当たりのよい草地に生える1年草または越年草。センブリに似ているが、茎が暗紫色で、花は青紫色。茎は高さ15~25cmで直立し、上方で枝分かれする。葉はやや密に対生する。花期は、10~11月、茎の頂や葉のつけ根に青紫色の花をつける。県内での生育地は散在するが、個体数は少ない。野焼きの停止や植林などで生育環境が変化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

種子植物

(写真：阿孫久見 文：小田 毅)

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，豊後水道後背地域，大野川上流域，祖母・傾山地

分布域 本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
朝鮮半島，中国（北部・東北部），アムール

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山，日豊海岸，祖母傾]